

II 飼料作物の作付体系

圃場条件	作物組合せ体系	利用目的	目標収量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	留意事項
飼料専用畑	ソルガム	サイレージ (サイロ)	生草 8~10t					○	○	×	×	×	×	×		2回刈り
	イタリアン (えん麦可)	ラップサイレージ 乾草	乾物 1.0~1.2t				×	×							○	2回刈り (えん麦は1回刈り)
飼料専用畑	スーダングラス	ラップサイレージ	生草 5~6t					○	○	×	×	×	×			2回刈り
	イタリアン	ラップサイレージ 乾草	乾物 1.0~1.2t				×	×					○			2回刈り
飼料専用畑	ローズグラス	乾草	乾物 0.8~1.0t					○	○		×	×				1回刈り
	イタリアン	ラップサイレージ 乾草	乾物 1.1~1.4t				×	×					○		×	3回刈り
飼料専用畑	とうもろこし	サイレージ (サイロ)	生草 6~8t					○			×	×				1回刈り
	イタリアン (えん麦可)	ラップサイレージ 乾草	乾物 1.2~1.5t				×	×					○		×	3回刈り (えん麦は1回刈り)
飼料専用畑	二期作とうもろこし	サイレージ (サイロ)	生草 11~14t					○			×	×				
飼料専用畑	栽培ヒエ	ラップサイレージ 乾草	乾物 0.4~0.6t					○	○		×	×				
	イタリアン・えん麦混播	ラップサイレージ 乾草	乾物 1.1~1.4t				×	×								×
転作田	イタリアン	ラップサイレージ 乾草	乾物 1.6~2.0t				×	×					○	○	×	3回刈り イタリアンは晩生種
	乾田の場合体系1~6を適用															

凡例：○播種 × 収穫

注1) 目標収量については、多回刈の場合合計収量とする。

注2) サイレージ (サイロ)、ラップサイレージ、乾草の調整方法は「V. 飼料作物の調整技術」を参照

○：播種 ○～○：播種期間

×：収穫

—：栽培期間

×～×：播種期間